



令和6年度 第1回総会開催

令和6年度の船橋市国際交流協会第1回総会が、5月16日の午後2時から、出席者29名により、船橋商工会議所の501・502会議室で開催されました。

初めに嘉規洋船橋市国際交流協会会長から、令和5年度の協会活動実績が紹介され、新型コロナウイルス感染対策の緩和に伴い、アンデルセン公園で開催されたインターナショナルフェスティバルでは約5600人ももの参加があったこと、日本語教室の外国人学習者などと協会会員によるバスセミナーや、協会サロン、葛飾公民館での日本語教室が再開されたことなどが報告されました。6年度については、デンマーク・オーデンセ市との姉妹都市提携35周年、中国・西安市との友好都市提携30周年に当たり、市民主体のイベントを展開したいと抱負を述べられました。

続いて、来賓として挨拶された松戸徹船橋市長から、市の人口がまもなく65万人と島根県を上回る規模となるなか、市民100人のうち3人が外国人となっている状況が示され、良き隣人として市民生活を送っていただくことが大きなテーマになっていると語られました。また現在、市内で8名のウクライナ避難民が安心して生活していることに触れた上で、今年はオーデンセ市・西安市との記念の年に当たることから、あらた



総会のようす

めて姉妹都市・友好都市提携の意義を確認する年にしたいと話されました。最後に、ウクライナや中東地域で困難な国際情勢が見られるなか、こうした難しい状況下であるからこそ、平和を市民レベルで作っていく必要があり、自治体が果たす役割は大きいと抱負を述べられ、国際交流協会からの力添えに期待したいとお話を結ばれました。

この後、片桐卓船橋市国際交流協会副会長から、令和5年度事業報告、決算・監査報告、令和6年度の事業計画、収支予算などの説明が行われ、それぞれが承認されました。承認後、すべての審議を終え、午後3時に閉会となりました。

令和6・7年度 会長・副会長・部会長等一覧

会長	嘉 規 洋
副会長 国際化啓発・広報部会長（兼務）	小田原 隆 泰
副会長	田 邊 厚 志
副会長 事務局長（兼務）	片 桐 卓
交流・相互理解部会長	椎 名 有 香
外国人支援部会長	浦 和 かほる
監事	小 原 智
監事	相 川 和 永



来賓挨拶 船橋市長 松戸徹様

バスセミナー再開！春の横浜へ

令和6年3月20日（水）春分の日に「日帰りバスセミナー」を実施しました。

「相互理解を深め、交流の輪を広げること」を目的に、外国の方が中心となるイベントにすることで、体験や作業を一緒にしてみんなで楽しむことをメインに考えて企画しました。外国の方を優先的に参加を呼び掛けたところ、あっという間に満員御礼となりました。

43名の参加者で、春の横浜へ行きました。

まずは中華街。三国志の将軍、関羽(かんう)を祀る煌びやかな関帝廟(かんていびょう)を見学し、好きなものを食べ歩き。焼き小籠包、大きな肉まん、可愛いパンダまん等が人気でした。



中華街散策。どこを撮っても絵になる街並み。

次に、今回のメインである、世界中で愛されているカップヌードルの開発者である日清食品創業者・安藤百福の発明記念館「カップヌードルミュージアム」でのMyカップヌードルづくり。「どうする?」「それいいね!」等とわいわい会話をしながら、個性豊かなMyカップヌードルをつくりました。

最後に三溪園。ボランティアガイドさんのわかりやすい説明を受けながら、自然と調和した歴史的建造物や静寂で美しい日本庭園などを見てまわり、日本の伝統美を体感しました。

行き帰りのバスでは、ゲームで盛りあがりました。参加者の皆さんからは「とても楽しかった」「日本語の勉強になった」との嬉しい声も。たくさんの笑顔があ



三溪園を散策する参加者たち



カップヌードルミュージアムの前で記念写真



調味料やお茶の専門店に寄ってお土産を購入したり、フォトジェニックな街並みで記念撮影をしたりして楽しみました。



Myカップヌードルづくり

ふれ、会話が弾み、お互いの理解を深めあうことが出来ました。次回のバスセミナーもお楽しみに。

(交流・相互理解部会長：椎名有香)

協会主催「実践ミニベトナム語講座」講師フォンさんを訪ねて

6月22日（土）ベトナム語講座を見学した後、講師のヴォー・グエン・アイン・フォンさんにお話を聞きました。

講座を担当した感想は：

受講者が最初の一步からコミュニケーションが取れるようになるのは大きな喜びです。また、受講者にわかりやすいように日本語で説明することは、自分にとって学びになります。講座以外でも、ベトナム料理と一緒に食べたり、いろいろな話をしたりすることで、日本とベトナムの相互の理解を深めることができます。海外に住んでいても、私を故郷と繋げてくれます。

来日して感じたことは：

公共交通機関の時間が正確で、移動が便利です。ゴミを捨てることなく清潔です。自然の景観が美しく、秋の紅葉が特に素晴らしくて好きです。京都、奈良、大阪の寺院や城などいろいろなところを訪れると日本人の美意識の素晴らしさを感じます。

困ったことは：

都市では家賃が高く、外国人が理想的な住まいを借

りることがむずかしかったり、残業が多いことは残念です。

これからやりたいことは：

FIRAの日本語教室と出会って、先生方が熱意や友好的な心を教えてくれて感謝しています。その後も日本語学校に通ったり、仕事をしたりする中で日本語のスキルを上げてきました。今後は、私も受講生のベトナム語能力試験の支援に力を入れたいです。

フォン先生は、日本人や日本に住むベトナム人の友人も多く、ベトナムとの良い関係をますます深めてくれると感じました。

（白川恵）



取材に答えるフォンさん



講座の様子

災害時外国人支援サポーター養成講座開催

令和6年6月29日（土）午後1時から、船橋市役所の11階大会議室で、「令和6年度 災害時外国人支援サポーター養成講座」が開催されました。

船橋市国際交流協会、片桐副会長による主催者挨拶の後、講師にお迎えした（一社）国際多文化研修ラボの代表理事で、防災士の松本義弘氏から、災害時に外国人が直面する課題やボランティアに求められる役割の説明があり、さらに課題に対処するための「やさしい日本語」の具体的な活用法、多文化共生の考え方や情報トリアージなどについて、参加者との質疑応答を織り交ぜながら、わかりやすい講義が展開されました。

この後、船橋市から、「災害が起こった時の船橋市の動き」について、①発災から災害対策本部の設置、②発災後3日以内の「災害多言語支援センター」の設置、③支援サポーターとの連絡調整、「やさしい日本語」での支援開始などの説明がありました。また、活動は主に「在宅」を想定し、インターネットを介して支援

センターと連携していくことも説明されました。

次に、支援センターが設置された場合を想定したグループワークが行われ、9つの班に分かれて、支援に必要な事項について、それぞれの班の見解が発表されました。

最後に、松本講師から「楽しみながらスキルアップを！」という言葉をいただき、51人が参加した養成講座が、午後5時に終了しました。



松本講師のアドバイスを聞きながら実習する参加者たち

お知らせ

◎国際フェスティバル開催

オーデンセ市姉妹都市提携35周年・西安市友好都市提携30周年記念事業として市と共催で行います。

日時：11月16日（土） 雨天翌日順延

会場：船橋港親水公園

* イベント内容は実行委員会で決定します。実行委員及び当日のボランティアスタッフ募集はメルマガ、ホームページで行います。多くの方のご参加をお待ちしています。

実行委員会の予定

第1回 7月31日（水） （開催済み）

第2回 9月11日（水） 15時～18時 中央公民館第8集会室

第3回 10月16日（水） 15時～18時 中央公民館第8集会室

第4回 11月6日（水） 15時～18時 中央公民館第8集会室

◎国際理解セミナー ウズベキスタンのお国紹介

11月19日（火） 勤労市民センターにて開催予定

詳細が決まり次第、協会ホームページで周知いたします。

協会ボランティアの募集

交流・相互理解部会

国際交流イベントを企画・運営するスタッフを募集します。

船橋市国際交流協会では、有志の会員が主体的にイベントを企画・立案して実施することが出来るような体制を整えたいと思っています。国籍を問わず、協会の会員であればどなたでも（※）応募可能です。

（※）日本語でのメールやりとりが可能である方

【活動】

船橋市内に住んでいる市民と外国の方が楽しく交流するイベントなどの企画立案から実施まで。

例：日本文化の紹介、季節のイベント（料理教室、クリスマスパーティー等）、バスツアー など。

【活動の方法】

年間を通して1～2回のイベント企画・運営を予定しています。

イベント前には集まることもありますが、基本はメールでのやりとりで企画を進めます。

グループ以外の方でも企画・立案は、当協会が定める所定の様式（※）で行い、承認を得たうえで、広く参加者を募り、実施していただくことができます。※所定の様式については協会ホームページをご覧ください。

外国人支援部会

・『ようこそなばし』編集員

3か月に1回（6月号、9月号、12月号、3月号）外国人向け情報紙を発行します。日本語原稿作成、翻訳依頼、印刷会社との校正のやりとり、発行、発送までを行います。

バックナンバーはホームページを参照してください。

国際化啓発・広報部会

・『協会ニュース』編集員

年3回程度、協会の行事のお知らせや報告を載せた会報紙を発行します。執筆依頼、取材と執筆、写真撮影、印刷会社との校正のやりとり、発行、発送までを行います。

・国際理解セミナーグループ

年1回、各国駐日大使を招いて市民に公開の国際理解セミナーを企画し実施します。

協会のボランティア活動は、多様な価値観に触れ、異文化を知ることにより、自らの文化を再認識することにも繋がります。

興味のある方はぜひご応募ください！ お問い合わせは：事務局までメールで firaoffice@gmail.com